

市P連情報発信

松江市PTA連合会ホームページ

最新の「お知らせ」や「過去のきらりまつえ」
をご覧ください。
<http://www.matsueshi-pta.gr.jp/>



第1回 母親委員会研修会

『子どもとの関わり方を考え直すお話を聞くことができました』



母親委員会研修会を11月3日、市民活動センターにて開催しました。
講師に三浦美緒先生をお迎えし、『思春期から大人へ～親の関わりと社会的関わり』について講演して頂きました。
これから思春期や更年期に向かう親と子、反抗期真っ最中の子どもに親はどのように接していけばいいのか、関わり方を聞かせて頂きました。反抗できる環境は親子の信頼



感が築けている証拠、ナナメの関係も大事な事を今後の親子の関わりに役立つお話を聞き関わりを考える機会になったと思います。
最後に家でもできる簡単なセルフケアを教わり体がすっきりとして気持ち良かったと感想も頂きました。
母親委員の皆さま、1年間活動にご協力いただきありがとうございました。(母親委員長 / 藤原奈緒美)

令和4年度 研修

今子どもたちに何が求められているのか？ ICT教育の現状と課題について



今、当たり前だったことが、当たり前でなくなっている。
そしてこれから20年、30年先を生きる子どもたちは誰も見たことも想像もしたことがない社会を生きていかなければならない。

ICT教育を中心に「松江市の現状と課題点」について、全国的にも先進的な取り組みを進めている熊本市教育長 遠藤洋路さんをお招きし、松江市教育長 藤原亮彦さん、松江市教育委員 原田順子さん、松江市PTA連合会会長 石川芳廣さんの4人が語り合いました。

お2人の教育長から、現在、未来への取組、そして我々が取り組んで行く課題を考える時間となりました。普段聞けない事、特に一人一台のタブレットについて知る機会もありました。最後に、これからの時代を生き抜く子どもたちに必要になることは、考える力と思いやりが大切なこととまとめました。

コロナ禍での取組でしたがPTAで工夫する事で多くの方に教育の現状を知ってもらえる機会となりました。(研修委員長 / 山根博幸)

研修会動画

3月末まで視聴
できます

QR

ご視聴後
アンケートに
ご協力ください

QR

松江市PTA連合会研修大会



1月21日玉湯学園にて、「未来の子ども達へ求められる考える力」と題して司法書士、日本ノートメソッド協会認定シニアトレーナーの青木文子氏をお招きし、松江市PTA連合会研修大会を行いました。
これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら考え、判断行動し思い描く幸せを実現するには？ 子ども達が、日常でうまくいかないことがある時に、自分で考えるようになった魔法のノート術について公開頂き、明るい未来を創造できる、今日から変わる！今、家庭でやってほしいこと、親が出来る事について講演をしていただきました。

動画配信をいたしますので、お楽しみください。(研修委員長 / 山根博幸)

研修大会動画

3月末まで視聴
できます

QR

ご視聴後
アンケートに
ご協力ください

QR



4
ブロック

E 島根県松江合同庁舎の桜道

松江橋南の桜スポット。国道9号線バイパス松江東1Cを降りてすぐ。
毎年、家族やなかよしグループが楽しく散歩しています。



4
ブロック

F 八雲立つ風土記の丘

広い芝生が広がり、
小さなお子さんと一緒にゆっくり過ごすことができます。



3
ブロック

G 豪農屋敷

忌部高原内にある豪農屋敷。
江戸時代から続くこの豪農屋敷で宿泊利用もでき、
家族や様々な団体での古民家宿泊体験ができます。



3
ブロック

H 床几山

小さな山ですが、中世や近代の松江の歴史と
美しい自然を感じることができます。
ぜひ親子で登ってみてはいかがでしょうか。

日本PTA全国研究大会山形大会に参加して



令和4年8月26日から27日に第70回日本PTA全国研究大会山形大会に参加してきました。『人とひとのつながりを体感しよう』をスローガンに3年ぶりに現地開催となりました。山形のPTAの皆さんの現地開催への熱い思いを強く感じました。

1日目は米沢市で行われた情報教育の分科会に参加しスキージャンパーの葛西紀明氏の「夢は努力でかなえる」という講演の中でオリンピックのメダルを触らせていただきました。また「情報化社会を生きる術を身に付けるには？」をテーマにしたパネルディスカッションを聞きました。

2日目の全体会では、記念講演で山形交響楽団の飯森範親先生の講演に続き演奏を聴くことができました。1つ1つのパートが楽器の特性や表現力を生かし1つの音楽を作っていく。それぞれの特性を誘い出したり、抑えたりそのコントロールを指揮者が担っている。これが団体行動またはグループ活動、PTA活動にも必要であり活動の先導をしていく人の重要性を再認識させられました。なお、この大会はオンデマンドで配信されていますので、興味のある方は是非ご覧ください。(会長 / 石川芳廣)

QR

令和4年度会報委員 (81号担当) (敬称略)		
花田多美子 (雑賀小)	加田 春樹 (玉湯園)	西村 勝美 (美保中)
佐々木祐子 (忌部小)	青木 誠 (来待小)	中村 美帆 (第一中)
古藤 啓一 (湖東中)	船本亜紀子 (八雲中)	宇野 英知 (美保中)
福井 治 (志那小)	仲田 幸司 (意東小)	川本ゆかり (美保小)

編集 / 松江市PTA連合会 会報委員会 印刷 / 株式会社谷口印刷

今年度は「地域を知ってもらう」をテーマに各ブロック代表の皆様を紹介して頂きました。各地区のイベントやお勤めの場所などを是非皆様にご覧になって頂き、興味や共感を持ってもらえたら幸いです。私達が子どもの頃に親や地域の方々から色々教えて頂いた事を次世代へ繋ぎたい！ 地域の良さと人の関わりの大切さを大人になってからも思い出してもらえように。それが私達大人の責務なのかもしれません。最後になりましたが、会報委員の皆様のお力添えのおかげで未経験の私が1年間務める事が出来ました。本当に感謝しております。会報委員の皆様、ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。(会報委員長 宇野英知)



記事掲載校

- 3ブロック: 忌部小学校 雑賀小学校
- 4ブロック: 古志原小学校 湖東中学校
- 5ブロック: 玉湯学園 来待小学校
- 7ブロック: 意東小学校 八雲中学校

80号に続き、
2月28日まで
アンケート実施中

QR

数分で回答できますので、ご協力をお願いします。

親子で楽しもう!

地元PTAパパ&ママが選んだ おすすめスポット \ 橋南版 /

※それぞれのスポットに添えたアルファベットは、3ページの地図上のマークと照らし合わせて大まかな位置が確認できます。



7
ブロック

A 日吉親水公園

このスポット一番のおススメは、初夏の時期。1ヶ月ほど川を横断してあげられる鯉のぼりが気持ち良さそうに空を泳ぐ下で、川からの爽やかな風を感じながらゆっくり思い思いに過ごすのが地元民のイチ押しです。



7
ブロック

B 意東海岸

意東海岸は、親水護岸や歩道が整備されており、以前は白鳥海岸と呼ばれ冬には沢山の白鳥が飛来していました。天気のよい日ここから望む雄大な大山は絶景です。



5
ブロック

C 姫神広場

地元の人も集う憩いの足場。
屋根付きなので天気を気にせずゆったり楽しめます。



5
ブロック

D 来待ストーン

石切り場の中に来待ストーンがあります。
来待石を使い親子で体験して作品を作ってみませんか。

忌部小学校

3
ブロック

雑賀小学校

魅力あふれる床几山

自然豊かな忌部高原&大川端ビオトープ

美しい山や川に囲まれている忌部地区。自然の中で1日中堪能できるのが忌部地区の魅力です。ここでは、親子で楽しむことのできる忌部の隠れスポットを2つご紹介いたします。

○忌部高原…忌部地区から大東町方面に向かう峠から山道へ。標高400mの忌部高原の眺めは絶景！快晴の日には隠岐の島や宍道湖が綺麗に見える癒しのスポット。豪農屋敷、キャンプ場など憩いの場もあります。



○大川端ビオトープ…地域の方々のご尽力でつくられた美しいビオトープ。毎年、2年生生活科学の町探検でこのビオトープに行き、全身で遊んだりビオトープの美しい環境に親しんだりしています。初夏から秋にかけて、親子でもぜひ訪れてみられてはいかがでしょうか！（佐々木祐子）



床几山は、雑賀小学校から徒歩で10分程度のところにあり、松江を代表する標高約41mの山です。

その山の名前は、慶長8年(1603年)堀尾吉晴が広瀬の富田から松江に城を移す際に、子である忠氏と、ここで床几(腰かけ)に座って城地を決めたことに由来します。山頂付近から遠望すると、松江城の天守が見えます。約400年前の殿様がここから松江の地をぐるりと眺めていたことを想像すると、ちょっとしたタイムスリップをした気分になります。

また山頂付近には配水場跡があり、床几山は松江市の水道発祥の地でもあります。昭和60年頃に大庭配水池が築造されその役目を終えることになりましたが、大正初期から稼働し松江市の生活を支えてきたその施設は現在、登録有形文化財に指定されています。

松江市が水道創設70周年を迎えたことを契機に、この配水場跡につつじなど花木の植樹が行われ、床几山公園として整備されました。4月から約2か月間という期間限定ではありますが開放され、多くの市民が訪れています。

歴史と自然、見どころ満載の床几山。ぜひ登ってみませんか。（花田多美子）



自分の地域を紹介します!

まだ知らない
松江があるかも!?



それぞれのアルファベットは、1・6ページのスポットの大まかな位置を表します。

まだまだ知らない
ところがあるね!

地域のおじさんと
仲良くなったよ!



地域とのつながりは
大切だね!



楽しい人が
いっぱいいるんだね!



玉湯学園

5
ブロック

来待小学校

夏の思い出 タマステージ

地域に参加、地域を見つめなおそう



夏の玉造温泉では夏祭り「タマステージ」があります。タマステージは観光客をもてなし、温泉街全体のにぎわい創出を目指して2009年に始まりましたが、今や地元の子どもたちも毎年楽しみにする玉造温泉街の夏の風物詩となっています。



川沿いに設けられた特設ステージでは、どじょうすくいやジャズコンサート、フラダンスなどさまざまなショーが7月下旬から8月末までのひと月以上、毎日替わりで催されます。今年は新型コロナウイルス感染症対策のために露店の出店を取りやめましたが、温泉街で営業する飲食店の店先には子どもたちに楽しんでもらおうと、射的などのゲームコーナーが設けられました。

夏の夜は、ぜひ「ゆ〜ゆ」前の特設ステージへ。（加田春樹）

6年生は代々、来待太鼓を継承しています。例年だと、春には「森のマリンパーティー」、秋には「きまち川祭り」があり参加していました。しかし、コロナ禍のため制限、中止されていましたが、今回、きまち川祭りで披露することができました。緊張と発表できるうれしい気持ちの中で地域の行事に参加することができました。

また、全学年を通しグループに分かれ、地域の史跡や産業について直接携わる方々よりお話を聞き、改めて自分たちが住む地域を見つめ直し、知る機会があります。古事記に記載される神社や来待石の施設もあります。イベントの時には足を延ばし探索してみてください。（青木 誠）



意東小学校

7
ブロック

八雲中学校

地域住民の思いが詰まった、皆で作った意東ゆめ公園

第7回 松江 森の演劇祭

【開催日】2022年11月
5(土)、6(日)、12(土)、13(日)

意東地区には以前公園がありませんでした。約10年前、地域の方の「みんなが安心して遊べる公園が欲しい!」との声から当時の意東公民館長と地域住民が意東ゆめプロジェクトを発会。行政の協力を得て2011年4月に意東ゆめ公園は完成しました。みんなで考え、あえて遊具のない小さい子どもたちも安心安全に遊べる公園です。

小山と芝生広場と近くには意東川が流れ、様々な遊びが創造できます! 発想次第で遊び方は無限です!

芝生のお手入れは大変ですが、意東ゆめプロジェクトのメンバーを中心に定期的に様々な地域住民参加型のイベントを企画されています。それぞれの家庭で手作りのプランターでマイ芝を育て持ち寄り、みんなで協力し移植するイベントや芝刈機の操作体験等を行っています。

マイ芝がどんどん成長すると嬉しいですよ!

是非一度ご体験ください。

子ども達が安心して思いっきり遊べる意東ゆめ公園へみんなで遊びに行ってみませんか!! (仲田幸司)



八雲町で3年に1度開催される国際演劇祭で、国内外の劇団による演劇公演のほか、舞台芸術のワークショップも行われ毎回賑わいを見せています。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で近年は開催が延期され、今年は前回から実に5年ぶりの開催となりました。八雲中学校でも中学生クルーの募集の説明会なども開かれ、クルーに応募して参加した子ども達もいます。

八雲小学校・中学校の子も達は、学校行事の中で「しいの実シアター」での演劇鑑賞やワークショップなどで日頃から演劇に触れ親しんでいます。今回スタッフとして参加することで大人の方に混ざり受付や会場案内、販売、会場設営など様々な体験ができました。また演劇祭にクルーとして参加した子ども達だけでなく、小さな子どもから高齢の方まで「演劇を楽しみたい」「マルシェを楽しみたい」「働く子ども達の姿に触れたい」と沢山の方が足を運びました。

森の劇場「しいの実シアター」を中心に町内のいくつかの会場に分かれて開催され、秋深まる八雲の4日間は、豊かな自然と祭の雰囲気、来場者とスタッフが一緒になって心温まる交流となりました。(船本亜紀子)

